

六本木の街を彩るアートの饗宴 「六本木アートナイト2023」開催決定

テーマ：都市のいきもの図鑑

日程：2023年5月27日（土）～ 28日（日）

メインアーティストに栗林隆+Cinema Caravan、鴻池朋子が決定！
六本木の街をフィールドに、気鋭のアーティストらによる多様なアートが出現

六本木アートナイト実行委員会は、六本木の街を舞台にしたアートの饗宴「六本木アートナイト2023」を2023年5月27日（土）～ 5月28日（日）の2日間にわたり開催いたします。

2009年の開始から今回で12回目※を迎える「六本木アートナイト」は、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に、東京を代表するアートの祭典として浸透してきました。

今回は国内外で活躍する現代アーティストの栗林隆+Cinema Caravan、鴻池朋子をメインアーティストに迎えます。

「都市のいきもの図鑑」をテーマに、自然界の大いなる営みや循環という視点から、都市に生きる命を想像することで意識していなかった多様な繋がりを感ぜられる作品が、六本木の街を舞台に展開されます。メインアーティストをはじめ、気鋭のアーティストらとともに、現代アート、デザイン、映像、パフォーマンス、またオンラインによるコンテンツも実施予定です。

「六本木アートナイト2023」会期中は、美術館をはじめとする文化施設、大型複合施設、商店街とも連携し、展覧会の特別プログラムや開館延長など連動企画も行います。国内外のアートが集まり、グルメ、ショッピング、映画が楽しめる六本木。驚きと感動、出会いに満ちたアートで彩られる六本木を、ぜひお楽しみください。

※2011年は東日本大震災、2020年・2021年はコロナ禍により中止

■ 六本木アートナイト2023 開催に向けて



撮影：伊藤彰紀

この数年間、私たちは“生きること”、そしてさまざまな生命の存在について深く考えてきました。持続可能な社会を考え、地球の環境全体へも意識を向けることになりました。こうした社会背景を踏まえ、「六本木アートナイト2023」では、東京という大都市にある六本木の街で、人間だけでなく、動物や昆虫、植物などさまざまな生きものがいかに命を育み、どのような生態系で共生しているのかを、アート作品やパフォーマンス作品を通して考えます。題して「都市のいきもの図鑑」。

メインアーティストとしては、2022年に世界最大の芸術祭ドクメンタに参加した栗林隆+Cinema Caravanが、全世界のエネルギーとその循環をテーマにした大作を六本木ヒルズアリーナに出品。国立新美術館、東京ミッドタウンには自然界や動物と人間の関係を斬新な視点で作品化してきた鴻池朋子の大型作品を展示します。その他、不思議な動物、可愛い動物など街のなかにいろいろな生命を発見することができるでしょう。

自然界の大いなる営みや循環という視点から、都市に生きる命を想像することで、意識していなかった多様な繋がりが見え、みなさんも六本木という街の空間に満ちる、前向きに生きるためのエネルギーを感じていただければ幸いです。

六本木アートナイト実行委員長
片岡真実（森美術館館長）



東京都



ARTS COUNCIL TOKYO



■ メインプログラム・アーティスト

栗林隆+Cinema Caravan

栗林隆は東西統合から間もないドイツに滞在した活動初期の頃から「境界」をテーマに大がかりなインスタレーションを中心に多様な作品を発表。日本とインドネシアを往復しながら活動し、国内外の展覧会に招聘されている。その栗林と2009年から共に活動を始めたCinema Caravanは神奈川県逗子市で開催された第一回逗子海岸映画祭(2010)のメンバーを中心に発足。写真家、大工、料理人など多様なメンバーによって構成されるコレクティブで映画にとどまらず、人や文化を繋ぎ共有体験を生み出す媒体となっている。昨年ドイツで開催されたドクメンタ15に参加し作品「蚊帳の外」を拠点に会期中にさまざまなイベントを行った。

栗林は、2022年のドクメンタ15にて、栗林隆+Cinema Caravanで発表した《元気炉四号機》を評価され、芸術選奨文部科学大臣賞を受賞している。



六本木アートナイト参加に向けてのコメント

20代の頃、オーストラリアのグレートバリアリーフに船で旅することがあった。初めてのダイビングにもかかわらず、2m近くのサメがウヨウヨ泳ぐ透き通った世界にも、何百匹いるか分からないオオトカゲだらけの無人島にも痺れさせられた。

そんな多くの体験の中で、鮮烈に、そして強烈なインパクトを与えた風景、場所があった。それが船の墓場である。そこは海図に載っている訳でもなく、知る人ぞ知る海域であり、保険金目当ての船主たちが、古くなった船をわざと座礁させ、保険金を貰っている場所なのだ聞いた。360度見渡す限り何もない大海原に、何十という大きなタンカーが座礁し捨てられているのである。その中にはパイレーツオブカリビアンに出てくる幽霊船の様な古い船も座礁しており、夕陽を浴びて現実とは思えない不思議な世界が広がっていた。その時の妄想が、このプロジェクトの始まりであった。

そのタンカーたちは、嵐や台風の影響でその場所を離れ、きっと世界中の海を彷徨っているのだろう。そして渡り鳥は休むためにとまり、彼らが連れてきた生き物や植物が根を下ろし、やがて船全てを覆うほどの森となる。世界中の植物や生き物達はそのタンカーの上で育ち続け、一つの大きな生態系を作りタンカーの世界を作り上げる。そんな大きく細やかな妄想から、タンカープロジェクトは始まったのである。

代表プロジェクト



逗子海岸映画祭、photo Cinema Caravan



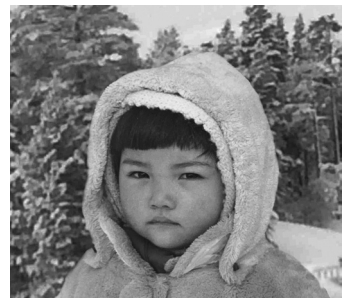
《蚊帳の外》栗林隆+Cinema Caravan、ドクメンタ15 (ドイツ・カッセル)、カールスアウエ、photo Takashi Kuribayashi



《蚊帳の外》栗林隆+Cinema Caravan、ドクメンタ15 (ドイツ・カッセル)、フリデリツィ広場、photo Rai Shizuno

鴻池朋子

絵画、彫刻、パフォーマンスなど様々なメディアと、旅によるサイトスペシフィックな表現で芸術の根源的な問い直しを続けている。近年の個展：2016年「根源的暴力」神奈川県民ホール、群馬県立近代美術館／芸術選奨文部科学大臣賞、2018年「Fur Story」Leeds Arts University、「ハンターギャザラー」秋田県立近代美術館、2020年「ちゅうがえり」アーツゾン美術館／毎日芸術賞受賞、2022年「みる誕生」高松市美術館など。グループ展：2016年「Temporal Turn」スペンサー美術館・カンザス大学自然史博物館、2017年「Japan-Spirits of Nature」ノルディックアクパラル美術館、2018年「ECHOES FROM THE PAST」シンカ美術館、2022年「Story-makers」シドニー日本文化センターなど。著書に『どうぶつのことば』、絵本(羽鳥書店)など。

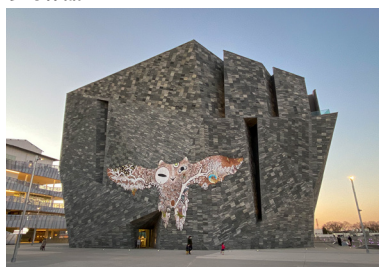


六本木アートナイト参加に向けてのコメント

さっき道で出会った野良猫に、明日また逢えるとは限らない。だから念の為、「じゃあまたね」と心で呟いてみるが、言葉で約束ができるのは人間だけ。だからそのまま別れ、そして二度と出会うことはないだろう。けれどもある時突然、思いもよらないことに、ぱったりと再会する、ということが起きる。そういう時、人は「縁がある」という。いなくなった猫に、不意に道端で遭ってしまう。約束も信頼もなく、縁は嵐のように暴力的に両者を接続させる。言語でコントロールが効かない。こんなとき私は、「縁」とは人間の言葉の中で、最も翻訳不可能な限りなく動物寄りの言葉だと感じてしまう。そしてアートもこれにとってもよく似ている。人はまだまだ自然が持つ不明さを、その動物の中に多分に含んでいるみたい。

私たちはどこまで人間でどこから動物なのかな。虫なのか、鳥なのか、風なのか、草なのか、土なのか。六本木アートナイトは境界線や分類が曖昧になり“どうぶつのことば”が飛び交うトポスになるかもしれない。

参考作品



《武蔵野皮トンビ》2021年 角川文化振興財団所蔵



《狼ベンチ》2022年



《アースベイビー》2009年

■ 六本木アートナイト2023 開催概要

- 正式名称:** 六本木アートナイト2023
- 日程:** 2023(令和5)年5月27日(土)～28日(日)
- 開催場所:** 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
公式YouTubeチャンネル【RAN TV】: https://www.youtube.com/c/rantv_roppongiartnight
- 入場料/視聴料:** 無料(但し、一部のプログラム及び美術館企画展は有料)
- お問合せ:** 六本木アートナイト実行委員会 ハローダイヤル: 050-5541-8600 (9:00～20:00)
- 主催:** 東京都[※]、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京[※]、港区[※]、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
- ※東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京及び港区は、令和5年度一般会計予算の各議決機関における決議を経て成立した場合に確定

- ウェブサイト:** <https://www.roppongiartnight.com/>
- Facebook:** <https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>
- Twitter:** https://twitter.com/r_artnight
- Instagram:** https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/
- YouTube:** https://www.youtube.com/c/rantv_roppongiartnight
- TikTok:** <https://www.tiktok.com/@roppongiartnight>

※実施内容等につきましては、諸般の事情により予告なく変更または中止する場合がございます。変更が生じる場合は、公式ウェブサイトや公式SNS等で改めてお知らせいたします。開催についての詳細や、参加アーティスト情報などについては、今後随時発表予定です。最新情報は順次、公式ウェブサイトや公式SNSにて発表してまいりますので、是非ご注目ください。

< 報道関係のお問い合わせ >

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内)

担当: 三上 TEL: 03-5774-1420 FAX: 03-5774-1409

Email: RAN@one-o.com

広報協力: liil inc. 篠原礼子 Email: reiko@liil.com Cel: 090-3535-9012

● 広報用画像はこちらからダウンロードいただけます
<http://bit.ly/3YbLdDK>